



篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和4年11月30日

12月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538
横浜市立篠原小学校 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinohara/>



卒業生

校長 松久保 伸子

77年前の5月29日、横浜は大空襲に見舞われました。横浜市中心部の被害が大きかったと聞いていますが、近くの東神奈川駅付近でもたくさんの方がなくなってしまったようです。私を含めて戦争を知らない世代がほとんどの世の中になりました。かつては国語や社会で戦争の話が出てくると、戦争体験者の方に教室に来ていただき、当時のお話を聞いたものです。コロナ禍ではなかなか難しくなってきました。そんな時に本校卒業生の俳優 五大路子さんから「朗読劇 真昼の夕焼け」の公演実施のお話をいただきました。東神奈川駅で起こった実話をもとにした朗読劇です。すぐに話がまとまり、社会の歴史学習で第2次世界大戦についても学ぶ6年生が、11月24日に鑑賞しました。

朗読ですから大きな動きはないからこそ、感情を込めたセリフが心に突き刺さります。篠原からさほど遠くはない場所で起こった話に、6年生は聴き入っていました。鑑賞後のワークショップで、6年生がどんどん手を挙げて語ってくれる感想の中には、戦争がもたらす理不尽さや命の大切さをちゃんと感じ取っているとわかる言葉がたくさん含まれていました。私たちの故郷で、77年前に何が起こったのか、記憶の継承が行われた瞬間でした。

また卒業生による在校生への公演は、6年生にとって大きな意味がありました。なんと五大さんが俳優を目指したのは、本校の放送室で音読放送をしたことが大きなきっかけだったということです。夢を実現した卒業生が活躍している姿を目の前で見た6年生、自分の夢についても考えたことでしょう。YouTubeでは、朗読劇「真昼の夕焼け」横浜夢座【オンライン配信用】と入力すると以前の公演の様子が見られますので、のぞいてみてください。

□□□令和4年度 6年生 全国学力学習状況調査の結果についてのご報告□□□

1, 児童質問用紙からうかがえる篠原小の子どもの姿

〈全国平均と見比べて、割合が高い〉

○朝食を毎日食べている。○1日当たりのテレビゲームや動画視聴をする時間が少ない。○自分と違う意見について考えるのが楽しい。

○友達と協力するのは楽しい。○学校の授業時間以外に、1日当たりに勉強する時間。○新聞を読んでいる頻度。

○土曜日や日曜日などの学校が休みの日に、1日当たりに勉強する時間。○授業や調べ学習、意見交換、発表でのICT機器の使用頻度。

〈全国平均と見比べて、割合が低い〉

●難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する。●人が困っているときは、進んで助ける。

●困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

2, 学力調査からうかがえる篠原小の子どもの姿

〈国語〉全項目で全国平均を上回っている。特に、言葉遣いの特徴や使い方に関する事項について、学習内容が定着している。また物語文では、叙述を基に捉えたり、全体像を想像したりすることができている。

〈算数〉全項目で全国平均を上回っている。無答率が低いことから、最後まで粘り強く考え抜く姿勢が見られる。問題文の数の関係をとらえ、正しく式を立てて計算することができている。

〈理科〉ほぼ全ての項目で全国平均を上回っている。特に、記述式問題での正答率が全国平均と比べて高いことから、様々な事象・現象から得た情報をもとに、自分の考えをもつことができている。

3, 今後の取り組み

総合的な学習の時間で行っているキャリア教育で、様々な仕事をしている方の話を聞いたり、仕事について調べたりする。その中で、自分自身のことを見つめるとともに、やりたいことに向かって失敗を恐れず挑戦しようという姿勢が芽生えるよう支援していく。

授業中でのICT機器の利用頻度が高いという結果が出たので、今後も研究を深め、情報活用能力の育成に力を入れていく。